

国語分科会における審議状況と今後の課題

1. これまでの審議状況

○ 国語分野：国語課題小委員会について

今後5～10年ほどを見通しつつ、国語分科会として取り組むべき国語施策における課題について審議を行い、令和5年3月10日の国語分科会にて「国語分科会で今後取り組むべき課題（報告）」（参考資料1）を取りまとめた。

○ 日本語教育分野：日本語教育小委員会について

令和4年11月29日の国語分科会にて「地域における日本語教育の在り方について」（報告）を取りまとめた。

また、小委員会の下に「日本語教育の参照枠」補遺版の検討に関するワーキンググループを設置し、「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）補遺版（2020）」を踏まえた「日本語教育の参照枠」の更なる活用・普及に向けた検討を開始している。

2. 今後の課題

○ 国語分野：国語課題小委員会について

今年度取りまとめた、国語分科会で今後取り組むべき国語施策に関する課題にのうち、既に審議に入っている「ローマ字のつづり方」などについて検討を行う。

○ 日本語教育分野：日本語教育小委員会について

CEFR（2020）を踏まえた「日本語教育の参照枠」補遺版の検討等を引き続き行うとともに、現在、政府が国会に提出している新法案を踏まえ、必要な検討を行う。